

# セメンテックス VF 施工要領

## 1. 下地処理

施工面の浮き部、ひび割れ部、鉄筋露出部やその周辺の脆弱部をはつり取り、露出鉄筋の錆やはつり面の塵埃、レイトランス等をサンダー及び高圧水洗浄で除去してください。

露出鉄筋の防錆処理が必要な場合は、別途、事前に処理してください。

## 2. 材料の混練り

・標準配合・使用量

品名	入れ目・荷姿	標準配合水	粉体使用量	施工可能面積
セメンテックス VF	20kg/袋	3.0~3.5 ㍓/袋	16kg/m <sup>2</sup> (10mm 厚)	約 1.25m <sup>2</sup> /袋
			48kg/m <sup>2</sup> (30mm 厚)	約 0.4m <sup>2</sup> /袋

・はじめに混練用容器(ペール缶など)を用意し、最低限度の標準配合水(3.0 ㍓)を投入してください。

・次に材料を少しずつ加えながら、ダマができないようにハンドミキサーで3分間、丁寧に練り上げてください。

・必要に応じて、標準配合水の範囲内で作業目的に応じた粘度に調整して、使用してください。

・材料の可使時間は、夏季30分、標準60分程度を目安として、その時間内に使い切れる量を混練してください。

## 3. 塗り付け作業

①下地が乾燥している場合には、水湿しをしてから良く擦り込んで、下地と十分に馴染ませてから塗り付けてください。

※下地コンクリートの吸水が激しい箇所では、吸水調整材(ファインコートP)を塗布してください。

※鉄筋防錆・下地強化には、セメンテックス VF-0 を塗付してください

②下地に良くなじむように材料を十分にこすり付けてください。

③施工箇所(側壁面・天井面など)の向きによって塗り付け厚さは異なります。1回の最大塗り厚さは、側壁面30mm、天井面20mm程度を目安としてください。

④塗り重ねる際は、指触硬化(指の押し跡が残らない程度の硬化)した後、次の層を塗り重ねてください。

## 4. その他注意事項

①外気温5~35℃の範囲で使用してください。

②施工中に降雨・降雪の影響を受けることが予想される場合には、施工を避けてください。

③激しい温度変化、直射日光、風などによる急激な乾燥の恐れがある場合には、シート掛け養生、散水養生、被膜養生材などの対策を行ってください。

④本商品はアルカリ性を示しますので、皮膚に触れたりした場合、直ちに水で洗い流してください。

⑤材料保管は上屋や覆いシートなどを設けて雨や湿気がかからないようにしてください。また、床に直接置かずパレットなどの上において保管してください。

⑥材料の使い残しが出た場合には密閉保管し、2~3日以内に使用してください。また、購入後3ヶ月以内に使用してください。

※本商品の安全取り扱い上の詳しい注意事項が必要なときは、製品安全データシート(MSDS)を参照してください。